

科目名	クラス	講義区分
地域福祉論A <春>		
<p><b>【教員氏名】</b> 松端 克文</p> <p><b>【単位数】</b> 2 単位</p> <p><b>【演習概要】</b> 2000 年の社会福祉法の改正により、同法第 1 条において社会福祉の目的として地域福祉を推進することが明記されるなど、地域福祉は今日の社会福祉を理解し、実践していくうえで、最も重要な領域として位置づけられている。しかし、それはイギリスやアメリカなどの影響を受けつつも、極めて日本的な概念である。本講では、こうした地域福祉の理念や理論、歴史や実践状況、あるいは推進方法（地域福祉の方法論）などについて、マクロ的には国際的な状況や日本の社会福祉制度改革の動向をおさえつつ、メゾ・ミクロ的には各自治体・地域における実践をふまえて概観することで、地域福祉の全体像や特徴、さらには今日的意義や役割に関する理解を深めることを目標に講義をすすめる。 この講義では、特に地域福祉の基本的考え方、地域福祉の主体と対象、地域福祉に係る組織、団体及び専門職や地域住民、地域福祉の推進方法を中心に講義をすすめる。</p> <p><b>【学習目標】</b> ①地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等を含む。）について理解する。 ②地域福祉の主体と対象について理解する。 ③地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。 ④地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む。）の意義と方法及びその実際について理解する。 ⑤地域福祉の推進方法（ネットワーク、社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域トータルケアシステムの構築方法、サービスの評価方法を含む。）について理解する。</p> <p><b>【講義計画】</b> 第 1 回：地域福祉とは—地域福祉の基本的な考え方 地域福祉の主体と対象 第 2 回：地域福祉理念、概念と範囲、役割と意義 第 3 回：地域福祉理論の分類① 構造的な概念と機能的な概念 第 4 回：地域福祉理論の分類② 4 つの志向軸による分類 (1) コミュニティ重視志向の地域福祉論 第 5 回：(2) 在宅福祉志向の地域福祉論 第 6 回：(3) 政策制度志向の地域福祉論および自治型地域福祉論 (4) 住民の主体形成と参加志向の地域福祉論 第 7 回：地域福祉の構成要素 第 8 回：現代社会におけるコミュニティの変容とコミュニティの分析枠組み 第 9 回：地域福祉調査法 第 10 回：地域福祉推進の方法 ①コミュニティワーク、コミュニティオーガニゼーション 第 11 回：地域福祉推進の方法 ②コミュニティソーシャルワーク 第 12 回：コミュニティづくりと福祉コミュニティ 第 13 回：地域福祉の人材の構成およびその動員方法・財源の構成とその調達方法 第 14 回：地域福祉のサービス提供組織とその運営方法・連携・協働・ネットワーク 地域福祉推進の組織、団体、専門職 第 15 回：試験およびまとめ —地域福祉をめぐる政策状況と課題および地域福祉実践の可能性—</p> <p><b>【成績評価の方法】</b> 試験評価：80% 出席：20% 毎回、出席をとります。 リアクション・ペーパーにはしっかり記入すること。 試験レポート出席 コメント</p> <p><b>【テキスト】</b> 上野谷加代子・松端克文・山縣文治編『よくわかる地域福祉（第</p>		

5 版)』ミネルヴァ書房、
<p><b>【参考文献】</b> 随時、紹介します。</p> <p><b>【準備学習の指示】</b> シラバスを確認の上、予習しておいてください。</p> <p><b>【備考】</b> 毎回、レジュメを配布します。</p> <p><b>【備考（管理者用）】</b> （旧：地域福祉論）02～08SW 生読替</p>